

2025年度の学会賞審査結果について、以下のとおり報告いたします。

2025年度学会賞受賞者

山村記念賞	
業績名	慢性痛における下行性抑制系の役割とその変化
受賞者	須藤 貴史
所属	群馬大学大学院
講評	学術委員会における事前審査において、評価点の合計が最も高く、業績内容については一貫した研究テーマで、提出業績のimpact factorも過去の受賞者と比べて見劣りせず、継続性がある研究であることが挙げられた。長年にわたって神経科学に関する領域で慢性痛の発症機序や治療ターゲットについて地道に系統だった研究と論文投稿を継続している点、今後の方向性を示しているだけでなく、麻酔科学を超えた領域への広がり可能性などを示している点を極めて素晴らしいとして高い評価がなされ、本学会の最高の賞に値する業績であるとし、山村賞を授与することが決定した。

青洲賞	
業績名	麻酔・ペイン・緩和ケア領域における医療ビッグデータの利活用
受賞者	阿部 博昭
所属	東京大学大学院医学系研究科
講評	ビッグデータ（DPCデータ）の活用、これらを用いた興味深い研究を遂行し、特に術後せん妄については、高齢化が進行している本邦の発表として意義が大きく優れた研究であることが評価された。また、種々の統計学的手法を用いた継続研究となり、臨床研究として意義が高い内容であるとともに、日常臨床に密接に関わる重要なビッグデータを解析し、トレンドに沿いながら最大限にデータを活用した素晴らしい研究であるとし、最も優秀な臨床研究業績に値するとし、青洲賞を授与することが決定した。

若手奨励賞（臨床研究）	
業績名	Point-of-care testing for tranexamic acid efficacy:a proof-of-concept study in cardiac surgical patients
受賞者	吉井 龍吾
所属	琵琶湖大橋病院
講評	学術委員会における事前審査において、評価点の合計が最も高く、業績内容については応募者の中でも最もimpact factorが高かった。また、日常の臨床業務で感じた疑問点を新しい機器を用いて検証することで実臨床に直結する重要な研究となり、トラネキサム酸の臨床効果を可視化し、作用遷延のハイリスク患者にまで言及する、熟慮されたプロトコルに基づく価値の高い臨床研究であるとし、最も優秀な臨床研究論文に値するとし、若手奨励賞(臨床研究)を授与することが決定した。

※（1）受賞予定者は2025年度の定時社員総会開催時の授賞式に出席（代理人でも可）

（2）受賞予定者は第72回年次学術集会にて授賞記念講演を以て受賞とみなします。

※詳細は受賞予定者へ個別にご連絡いたします。

該当者なし	松木賞
	若手奨励賞（基礎研究）
	社会賞